

科目名	真宗学講義					単位	4.0
担当教員	田代 俊孝						
授業形態	講義	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	3391

●授業のテーマ  
真宗学の概要

●到達目標

浄土真宗の教義の概要をテーマごとに学ぶ。単に、理論的理解をするのではなく、親鸞の苦悩の跡と救済について主体的に深める学びをする。

●学習内容(授業概要)

真宗学とは何か、その目的、対象、方法について、さらに、真宗の基礎的用語と概念、そして、真宗の概要を毎回ひとつひとつテーマを挙げて学んでいく。ただ、真宗という学問が、客観的に知識を詰め込んでいく学問ではなく、主体的に自己を課題にしていく学問であるため、最初は戸惑いも大きいと思う。もちろん、最初は知識的な理解からはいっていきがそれが目的ではなく、そこから、自らの生き方を真宗に学ぶのである。その意味では常に自己がとわれてくる。実践に向かっていく学問といえる。この授業はそれを基礎づける授業である。

活発な討論を望む。

なお、毎回、冒頭に『正信偈』の訓読を行うので、研究室にてそのコピーをかっておくこと。

●学習内容(授業計画)

『正信偈』の訓読

1. 真宗学を学ぶとは
2. 真宗学研究の伝統と歩み
3. 三経と七祖
4. 親鸞の著作1(『教行信証』等)
5. 親鸞の著作2(『和讃』等)
6. 教相判釈
7. 如来と念仏
8. 自利真実・利他真実
9. 諸仏
10. 光明
11. 他力回向
12. 菩提心
13. 信心『大経』の三信
14. 信心『観経』の三心
15. まとめ

真宗の学び

『正信偈』の訓読

<<後期>>

1. 罪福信と佛智疑惑
2. 二種深信
3. 現生正定聚
4. 浄土

5. 仏身仏土
  6. 二種回向
  7. 廃立と隠顕
  8. 准知隠顕
  9. 三願転入
  10. 神祇観
  11. 蓮如教学の概要
  12. 蓮如の生と死
  13. 清沢満之の生と死
  14. ビハーラ運動と生命倫理
  15. まとめ
- 真宗の学び

●準備学習・事後学習の内容

毎回授業のはじめに正信偈を訓読する。読めるようにしておくこと。  
事後には内容について整理しておくこと。

●成績評価方法・基準

前期・後期の授業内試験（8割） 平常の発表（1割） 小レポート（1割）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：同編纂委員会、出版社：東本願寺、販売先：文学部研究室

≪No.2.≫書籍名：『増補 親鸞の生と死』、著者名：田代俊孝、出版社：法蔵館、販売先：文学部研究室、備考：¥4500

●参考文献／その他

『真宗の概要』同編纂委員会編 東本願寺 『広い世界を求めて』田代俊孝 毎日新聞社 ¥1545

●履修上の注意

ノート整理をまいかいしておくこと。

授業時に配布した資料は綴じて保存しておくこと。